

2026年9月15日

2026年度前半「障害者スポーツ調査研究報告書」を発行

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、2026 年度前半の調査研究報告として「東京 2025 デフリンピックに対する社会的認知度調査」、「テレビメディアによる障害者スポーツ情報発信環境調査」、「パラリンピアンに対する社会的認知度調査」についての報告書を発行いたします。

本報告書は、当財団ウェブサイトよりご覧いただけます。

<https://www.ymfs.jp/survey/2026-parasports-h1-report/>



< 記 >

■報告書タイトル及び概要

【東京 2025 デフリンピックに対する社会的認知度調査】

東京 2025 デフリンピック大会前後における大会認知度、認知経路、関心度の変化、観戦形態についての調査結果を報告しています。

【テレビメディアによる障害者スポーツ情報発信環境調査】

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック競技大会の開催中と前後 31 日間のテレビ放送量を調査し、過去 5 大会(冬季)、過去 10 大会(夏季・冬季)からの変遷、局別、カテゴリー別、番組内コーナー別の調査結果を報告しています。

【パラリンピアンに対する社会的認知度調査】

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック競技大会開催後のパラリンピアンに対する社会的認知度、大会の観戦形態、観戦後の感想について過去の認知度調査との比較、障害者スポーツとの接点について調査結果を報告しています。

■執筆責任者コメント

藤田紀昭 (日本福祉大学大学院 スポーツ科学研究科 教授/当財団障害者スポーツ・プロジェクト リーダー)

2026 年度前半「障害者スポーツ調査研究報告書」を発行いたします。概要にもあるとおり、昨年開催された東京 2025 デフリンピック大会に関する調査と、今年実施されたミラノ・コルティナパラリンピック競技大会に関する調査結果です。デフリンピック大会はわが国では初めての開催となった大会の認知度や関心度の変化など貴重な調査結果が含まれています。ミラノ・コルティナパラリンピックに関しては 2020 東京パラリンピック以降の我が国の現在地を示しています。ぜひご注目ください。

この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当:加賀谷)